

日本の安全安心考えます!

セキュリティ研究

Review

121

December
2008

特集 セキュリティトレンド 2009

CREATIVE MIND 株式会社スタンダード

SECURITY INDUSTRY WATCH

パナソニック電工株式会社 / 三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社 / 株式会社ライオン事務器 / 株式会社タムロン
ソニー株式会社 / エア・ブラウン株式会社 / 株式会社 IHI エスキューブ / 株式会社イメージワン



ADVANCED SECURITY SOLUTIONS VOL.6

不動産の新しい価値～「空間情報管理」～

特定非営利活動法人
日本情報安全管理協会

不動産ソリューションフェアに出展

2008年10月に開催された第10回不動産ソリューションフェア（ビル経営研究所主催）に出展してまいりました。



▲ 開演前のブースの様子

東京ビッグサイトにて10月21～22日と2日間に渡って開催された同フェアに、今回は弊協会と弊協会の法人会員であるFOR-S株式会社（東京都港区 代表取締役社長 西平隆）と共同でブースに出展しました。

弊協会は、活動報告を含めた情報セキュリティについて啓発的側面から出展を行い、FOR-S株式会社は、自社で開発・販売・運用している盗撮対策ソリューションであるスペースパトロールサービス（SIMS エンジンを搭載したMirca2.0 端末機を使用した不審電波遠隔管理システム）を紹介し、盗撮機器対策に関するデモンストレーションを中心に空間情報管理のPRを行い、来場者の関心を集めてまいりました。

弊協会は、活動報告を含めた情報セキュリティについて啓発的側面から出展を行い、FOR-S株式会社は、自社で開発・販売・運用している盗撮対策ソリューションであるスペースパトロールサービス（SIMS エンジンを搭載したMirca2.0 端末機を使用した不審電波遠隔管理システム）を紹介し、盗撮機器対策に関するデモンストレーションを中心に空間情報管理のPRを行い、来場者の関心を集めてまいりました。

不動産関係者に対するアンケート調査

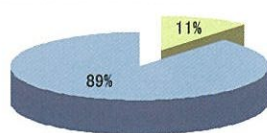
不動産ソリューションフェアでは、来場者の皆様のご協力を経て、空間情報管理に関するアンケートを実施しました。空間情報管理の認識が急速に高まっているとの予測のもと、予測に限りなく近い回答が多く見られ、改めて認知の高まりを感じました。アンケートの単純集計結果は下記の通りです。

不動産ソリューションフェア アンケート集計データ

会場：東京ビッグサイト 回答者：不動産関連事業者

質問1. 盗聴・盗撮対策で探査をされたことはありますか？

イ) 定期的に実施している	0%
ロ) 実施したことがある	0%
ハ) 考えている	11%
ニ) ない	89%

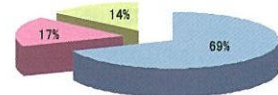


今回の調査では盗聴・盗撮の探査をされた該当者はいなかったものの、全体の約1割の人が探査を検討しているとの結果となりました。ユーザーへのサービスとして空間情報管理を考える一方で、自社に関しての情報セキュリティについても1割ではありますが、検討をしている企業があるということです。不動産分野における、空間情報セキュリティについてのマーケットはいまだ未開拓の状態

に近いため、積極的な営業展開によってはマーケットを大きく独占できる環境にあります。

質問2. 欧米では日常対策となっている空間情報セキュリティに関心がありますか？

イ) 積極的に対応したい	0%
ロ) 関心を持っている	69%
ハ) まだ時期尚早	17%
ニ) 関心はない	14%

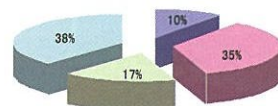


欧米では情報セキュリティの一項目として、音声・映像等の電波に対してのセキュリティ、すなわち空間情報管理が認知されています。

日本国内においても、従来発想のセキュリティではなく、「空間情報セキュリティ」への認識が思いのほか浸透していると感じられました。「関心を持っている」が69%と多数を占め、「まだ時期尚早：17%」「関心は無い：14%」を大きく引き離し、関心・知識の高さは予想以上のものでした。

質問3. 24時間空間情報セキュリティの資料が必要ですか？

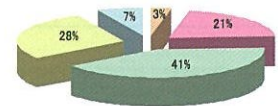
イ) 必要	10%
ロ) 関心を持っている	35%
ハ) どちらでもよい	17%
ニ) 必要ない	38%



FOR-S株式会社の空間情報セキュリティソリューション関連説明資料を「必要：10%」「関心を持っている：35%」と答えた方が45%、「必要なし」の38%を上回っています。積極的なビジネスへの関心の高さが推測されます。

質問4. 女性対象の賃貸マンションのお部屋の付加価値アップとして、盗聴・盗撮対策をお考えですか？

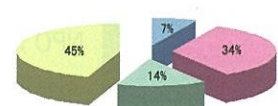
イ) 定積極的に考えたい	3%
ロ) 検討する	21%
ハ) 関心はある	41%
ニ) 関心はない	28%
ホ) 無回答	7%



女性対象のマンションに、盗聴・盗撮対策を取り入れたいと考えている方が65%と非常に多く、「関心は無い」と答えたのは28%と少数でした。⇒女性対象のマンションに対する本格的アプローチの必要性を痛感しています。

質問5. 女子学生への住まいのアンケートで、不満足と答えた項目は何でしょう？

イ) 収納スペース	7%
ロ) 防犯設備	34%
ハ) 住宅の間取り・広さ	0%
ニ) 台所・風呂・トイレの設備	14%
ホ) 無回答	45%



ある資料によると、女子学生が住まいに対する不満で最も多いのが「防犯設備」とされています。アンケート結果ですが、さすがに不動産関係者だけに、現在の女性の住まいに対する最大の課題は「セキュリティ」であることを認識されています。

今回、不動産を提供する側へのアンケート結果がこのような意識の高さが見られるということは、ソリューションとして一般化していく可能性があるものと予測されます。

質問6. 電波を使った犯罪・事故が多発しています。

下記の具体例でご存知の項目に○を付けてください。

	知っている	知らない
イ) ゴルフ場での暗証番号を盗撮、ロッカー荒らしの被害多発	██████████	██████████
ロ) エ場ラインでの異常電波がたびたび発生し、工程がストップ	██████████	██████████
ハ) 役員会議の様子が外部に盗聴されていた	██████████	██████████
ニ) 女性顧客や女性社員がトイレで盗撮にあった	██████████	██████████
ホ) 宿泊客が盗撮被害にあり、その影響で営業不振となり廃業に追い込まれる	██████████	██████████
ヘ) 盗撮被害者が盗撮現場となった施設を訴え勝訴	██████████	██████████
ト) 更衣室での着替えを盗撮	██████████	██████████
チ) フィットニングルームで試着されたお客様が盗撮被害にあった	██████████	██████████
リ) 見本市会場で新製品のデザイン等が盗撮され、複製品(違法)が即市場に出回った	██████████	██████████
ス) 単身女性宅にストーカー盗撮犯が無検カメラを仕掛けていた	██████████	██████████
ル) 転居先のマンションに、盗聴器・盗撮カメラが仕掛けられていた	██████████	██████████
ヲ) 大学の女子トイレに部外者が盗撮カメラを仕掛けていた	██████████	██████████
ワ) 女子プロスポーツの大会で女子選手の盗撮被害が出て、インターネットで販売されている	██████████	██████████
カ) 病院の看護師が盗撮被害にあったDVDが市場に出回っている	██████████	██████████
コ) 銭湯で盗撮された女性の映像が3年後DVDとなって出回り夫の友人に指摘される	██████████	██████████

上記項目イ)～ロ)については実際に起こった(電波・盗聴・盗撮関連)事件・事象になります。認識などをたずねたところ、近年メディアにおいて危険性などが報道されている面から見ても、約半数の項目について見識があるとの結果がでており、電波を使った犯罪・事故に対する情報も広く浸透していることが伺われます。

弊協会としても、同様の事件や、盗聴・盗撮などの脅威について、今後ともホームページやマスメディアを通じて啓発活動を継続していく予定です。

不動産の付加価値として

オフィスを利用する多くの企業や、賃貸・分譲を希望する一般消費者にとって、セキュリティの観点からみた空間情報セキュリティへのニーズは急速に高まっています。今回の出展において、不動産事業者関係者からも、空間情報セ

キュリティは不動産の付加価値の1つとして十分に認識されていることがアンケートより明らかになったとみられます。

ユビキタスネットワーク環境も整いつつある現在においては、リッチコンテンツ等の情報交換が誰でも簡単にできる非常に“便利な環境”に変化してきました。しかしその一方で“便利な環境がもたらす新たなリスクが発生し始めている事実もあります。

それは“情報漏洩に関するリスク”であり、既に多様化しているのが現状です。ただ、日本においては「コードレス電話」「ワイヤレスマイク」「無線LAN」「携帯電話などの無線電波を利用した機器を多く使用しているにも関わらず、“目に見えない情報”(＝空間情報)については管理体制が全く整っていない状況下にあるのです。

事実、管理体制の未熟さによって“著作権侵害”や“映像による個人情報漏洩等を引き起こし、社会全体に大きな脅威をもたらしております。

また、CSR(Corporate Social Responsibility)の観点からも空間情報セキュリティは、非常に重要な分野と位置付けられています。特に無線による映像の漏洩などは、施設者の管理責任が問われる可能性も今後増えてくると思われるます。

また、盗撮防止に関する法制化が進められているという観点から鑑みても、施設管理者は、空間情報管理に関してもセキュリティコストをかける必要性がでてくるものとの予測されています。

空間情報管理社会を目指して

一般の消費者が映像・画像・音声などプライバシー情報を含む個人情報を守りたいという欲求は、個人情報保護法等に関心の高さなどから見ても明白であり、そのようなニーズに対して関連企業はある程度のソリューションが提供可能な時代に入っています。

これらの空間情報管理に関するソリューションについては今後ますます一般化していくことが予測されています。それとともに、FOR-S株式会社による住まいやオフィスに忍び寄る新しい空間電波犯罪を抑止し、快適で安心・安全な空間を提供するスペースパトロールサービス(24時間空間監視のSpace Patrolシステム)は、空間情報管理セキュリティの先駆者としての役割を担い市場へ展開していくことと思われま。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会 事務局

〒108-0073 東京都港区三田 2-14-5 7F

TEL : 03-5765-7677 FAX : 03-5765-3181

URL : <http://www.jilcom.or.jp> E-MAIL : jilcom@aiores.ocn.ne.jp

FOR-S 株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-4 品川グランドセントラルタワー 7F

TEL : 03-5715-1248 FAX : 03-5715-1249

URL : <http://www.for-s.jp>